

東アジア日本研究者協議会 第7回国際学術大会 パネル/個人発表 スケジュール① (大会2日目)

2023年11月4日(土) 11:00~12:30						
教室番号	102	103	104	105	106	107
発表タイトル  → パネル発表  → 個人発表	日本から学ぶ地域通貨	インドネシアの日本語雑誌と 植民地日本語文学	「高齢化+の+名詞」と 「高齢化+名詞」との 使用実態についての考察	核批評の神話的構造化： 大庭みな子・多和田葉子 トランスクリティーク	外交史料に見る 台湾人元日本兵に 関する補償問題	日本のデジタル性暴力の 現状と課題に関する 学際的検討
			ChatGPTを用いて宿題を 活性化させる日本語文学 授業実践報告	カズオ・イシグロ初期作品 における「秘する」表現法 への試み	植民地から戦後日本への 法の接続：植民地朝鮮に おける裁判例の現代的意義	
			Allにできない言語表現に 関する一考察：度数を表す 表現をめぐって	Japanese Literature in the Sphere of Bengali Literature: Importance and Role of the Translated Literature in Bengali	複数回難民申請者に関する 政治的議論の分析：2023 年通常国会における入管法 改正案の審議を事例として	
108	109	110	111	112	113	114
近世都市社会における 内在的動態の検討	東アジアを取り巻く〈反共〉 表象と直接行動：「帝国」 の影響と「抵抗」運動	戦後日本社会における『小 説新潮』と戦争経験の「語 り」の変遷：1940年代から 1960年代を中心に	日本におけるニューカマー 新中間層の集住型定住： 華僑華人の事例を 手掛かりに	近代天皇制イデオロギーにお けるキリスト教的武士道	AIがもたらす言語教育の 変革：台湾の日本語教育 を中心に	日中関係研究の新たな課題
		引揚げ児童文学試論： 『びいちゃあしん（筆架山）』、 『二つの国の物語』を中心に	日中国交正常化と 1970年代における日本・ 東南アジアの経済関係	潜伏キリシタン聖書 『天地始之事』の再検討： 樂園喪失物語を中心に		
		戦後処理問題と引揚者	東アジアのシティ・リージョ ナリズムの再検討に向けて： 「国家主導」的都市圏形成 論を越えて			

東アジア日本研究者協議会 第7回国際学術大会 パネル／個人発表 スケジュール②（大会2日目）

2023年11月4日（土）14：00～15：30						
教室番号	102	103	104	105	106	107
発表タイトル  → パネル発表  → 個人発表	日台半導体産業の連携と日本におけるビジネスの新展開	日韓介護保険制度におけるホームケアの相違	AIを活用した読解力向上の試み：多様な学習者への対応をめざして	東アジアにおけるマジックリアリズム文学：津島佑子を中心に	満州事変直前の在満日本人社会と満蒙鉄道問題	日本におけるジェンダー差の実証的社会科学研究
		社会参加仏教への人類学的アプローチ：在日台湾系仏教寺院の実践から	俳句の理解とは何か：ChatGPTの有効性を問う	安部公房文学と世界文学の交差点：『死に急ぐ鯨たち』を中心に	日本人移民の両義性：仏領ニューカレドニア移民からみる人種秩序の再編	
			AIを用いた新たな日本語教材を開発するための基礎調査：大規模言語モデルを用いた生成型AIによる中級日本語教材の本文分析	戦後労働者の演劇運動にみる作品のテーマの広がりと相互交流：大阪の演劇運動を中心として		
108	109	110	111	112	113	114
近代東洋文化における関連概念の変容	1960年代後半から1980年代における沖縄の運動・文化表現・歴史記録の交差	同人文化から大衆文化へ：1990 - 2010年代におけるタイBL出版文化の発展	21世紀における日本企業の対アフリカ投資：動態、実践、特徴	立達学園の全人教育理念に関する一考察：日本の新教育運動とのつながり	中国語・英語母語話者による日本語の第二言語習得と母語の影響	米中競争の国際情勢と日韓関係
		デジタルゲームを通して歴史を語る可能性についての考察：『返校 Detention』と台湾歴史認識を中心に	Digital market competition policy in East Asia: A study of JFTC and TFTC	西洋思想の受容と内面の再考察：梁啓超の「自由」摂取を中心に		
		中国ファンタジードラマの日本語字幕におけるファンタジー要素の翻訳分析：中国ファンタジードラマ『永遠の桃華：三生三世』を例に	NARA条約の通商政策的側面：日豪間の資源をめぐる問題に着目して	日本における現実主義論と憲法改正論：高坂正堯の思想を中心に		

東アジア日本研究者協議会 第7回国際学術大会 パネル/個人発表 スケジュール③ (大会2日目)

2023年11月4日 (土) 16:00~17:30						
教室番号	102	103	104	105	106	107
発表タイトル  → パネル発表  → 個人発表	現代日本の政治と 政策形成過程： 比較研究の視座から	日本型民主主義・ 資本主義の成熟と危機	日本語教育における聴解 ストラテジーの研究動向と その分析	『D市七月絨景 (一)』から 読む中島敦文学の抵抗： 苦力表象を視座にして	日清戦争前後における 犬養毅と対外硬派：対清 強硬論と中国保全論の間で	異文化の流通や受容： 日本を中心に
			「教養としての日本語教育 学」の学びを目指した拡張 的タンデム学習としてのイン タビュー活動のデザインと評 価：教育デザイン研究のア プローチに基づいた実践	川端康成『雪国』と 大庭秀雄「雪国」の 比較研究	明治期日独通交史における 外国人商標権保護の 一側面	
			台湾と日本のオンライン国際 協働学習 (COIL) 実践に おける社会課題の学びに 関する研究	佐藤春夫の鲁迅作品翻訳 について	鹿地亘の“抗日”参加と 中国文化人の日本認識への 影響：日中全面戦争期の 武漢文壇を中心に	
108	109	110	111	112	113	114
映像メディアを通じた 日本古典の理解と教育	東アジアにおける 「レイズム」の歴史と現在	世界のマラソンから見た 日本のマラソン、日本	清末における日本仏教の 中国進出理由の再考： 小栗栖香頂の渡清を 中心として	『台湾愛国婦人』における 「国家神道」：台湾士紳は 植民者のイデオロギーを 理解できるのか	デジタル環境における 日本語教育の多様性と実践	東アジアからインド太平洋へ： 変化する安全保障概念と 中国問題への関与
		「札幌の景観色70色」が 景観まちづくりに及ぼした 影響	道元における「春風」： 南宋曹洞宗との関わりを めぐって	文学者西川満の 日本天后会の組織形態の 一考察：日本新宗教の 教団類型からの検討		
		菓子文化を通じた地域 振興・地域間連携への 一提言：「お菓子の神様」 を例として	An Adaptation of Macbeth in Japan's Noh			

東アジア日本研究者協議会 第7回国際学術大会 パネル／個人発表 スケジュール④(大会3日目)

2023年11月5日（日）9：00～10：30						
教室番号	102	103	104	105	106	107
発表タイトル  → パネル発表  → 個人発表	アジアにおける「ナル的表現」研究の地平：日本語の「ナル表現」から出発して	帝国という言説空間の越境・連帯・抵抗：アナーキズムと現代詩、フリージャズ	AI技術のテキストマイニングによる村上春樹研究：『街とその不確かな壁』を中心に	谷崎潤一郎の戯曲「愛すればこそ」（1921－1922年）における「愛」の意味	「異域道行」を望む遺老：張斐の華夷思想を読み解く	日本の古代・中世・近世における日本文化の実相と変遷
			内の関係の「二字漢語動名詞十の十名詞」が成立する条件の再検討：語構成の観点から	『春琴抄』における加虐愛の語りこみる地方性と世界性	永井荷風作品における「夢」とそのアレゴリー性	
				『我身にたどる姫君』一品宮の死について：先行物語との関係を軸に		
108	109	110	111	112	113	114
音楽、ポップカルチャー、ツーリズム	統治される生の脆弱さと危うさ、表象、コミュニケーション運動	社会運動の直接行動をめぐるSNS上の言説分布を理解する：2016年の沖縄県東村高江ヘリパッド建設問題に関連するTwitter言説分析	戦時下の上海で生きた女性の反逆：林京子『予定時間』と張愛玲『色、戒』を読む	公論・天皇・民主主義	AIを用いた言語教育の応用研究の可能性	「あまりの心」から「余情」へ：和歌における〈言外の情趣〉の多元性
		日本の防衛政策と社会受容の変化	与謝野晶子の小説集『雲のいろいろ』におけるジェンダーとあいまいな文体について	“A ‘translative adaptation’ of institutions?” The interplay of Japanese political thought with Western borrowings during the practical		『聞書全集』の成立過程 試論：本歌取り論を中心に
		日本のデジタル地政学の戦略状況分析				

東アジア日本研究者協議会 第7回国際学術大会 パネル／個人発表 スケジュール⑤（大会3日目）

2023年11月5日（日）11:00~12:30						
教室番号	102	103	104	105	106	107
発表タイトル  → パネル発表  → 個人発表	中東における日本研究と日本語教育：マンガ・アニメの受容と若者の日本語への関心	「植民地朝鮮」という外部から帝国の思想を問いなおす	雑誌『臺日グラフ』にみる「台湾」表象	トレンディドラマ再考：ジャンルとジェンダーの視点から考える	明治期日本の条約改正問題に対するイギリス政府の方針：1887-1894年を中心に	東アジアに起源する日本の在来カンキツの食文化
			魯迅からみる日本の創作版画について	チマチョゴリにおける在日コリアンのアイデンティティ表象：ポスターの造形分析を中心に	田中義一内閣をめぐる日中歴史認識の相違：「五十万元事件」を中心として	
			日本における「救荒類本草書」の受容と変容	近代日本の化粧品広告における「紳士」表象の生成と変容	長澤伴雄の対外観の変遷について：台湾大学図書館「長澤文庫」の史料の分析から	
108	109	110	111	112	113	114
高齢化社会におけるデジタル技術の活用と個人・地域ウェルビーイング	検閲と表現：統制的レイシズムと排除の論理を考える	日本知識人のアジア社会論と植民地経験：京城帝国大学時代の森谷克己を中心に	日本アニメと中国の関係：90年代以降のメディアプラットフォーム変容の視点から	田中休愚『民間省要』における農村自治論：荻生徂徠の武士土着論との比較を通じて	日本語教育における「文型」あるいはFormulaic Sequenceを考える	JFフェローシップと若手日本研究者のキャリア形成
		帝国日本と脚気研究：植民地台湾・朝鮮、「満洲」の日本人医学者の研究を中心に	いけばなインターナショナル沖縄支部の活動にみる戦後日本の文化表象：USCAR（琉球列島米国民政府公文書）を中心に	江戸時代の『東照宮大権現講式』からみた治国利民という系譜		
		戦前台湾に訪れたアイヌ講演家：門別光蔵の台湾行脚	韓国の装飾結び「メダウブ」と日本の装飾結び「花結び」の比較：装飾結びに内在する価値の構築過程に注目して			